

研究課題名	区域切除の適応拡大と短期成績の時代的変遷
研究期間	2026 年 7 月 7 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年、2018 年、2023 年の 3 年間に、NCD に登録され病変全体径 3cm 以下、臨床病期 0/IA 非小細胞肺癌に対して区域切除もしくは肺葉切除を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：区域切除の適応と安全性を検討すること 研究の方法：日本全国の National Clinical Database (NCD) を用いて区域切除と肺葉切除の臨床所見と術後合併症などの短期成績を比較検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	NCD に登録済みの以下のデータ：年齢、性別、PS、喫煙指数、禁煙期間、術前導入療法、呼吸機能%VC、%FEV1、DLCO、BMI、術前併存症、術前併存症_詳細、病変全体径、充実成分径、Consolidation to tumor ratio (充実成分径/病変全体径)、肺癌 c-T、c-N、c-M、c-stage、術中情報：手術年、手術術式、画像手術支援システム、肺葉切除詳細（スリーブ・ウェッジ、分岐部形成）、肺切除部位（左右）、肺切除部位（上中下全）、アプローチ、アプローチ_胸腔鏡、ポート数、最大創、開胸コンバート、リンパ節郭清度、胸腔鏡手術、自動縫合器使用本数、生物組織学的接着剤、超音波切開凝固装置、人工気胸、根治度、合併切除部位、手術時間、出血量、術中輸血、術中損傷、術後情報：病理所見、肺癌 p-T、p-N、p-M、術後合併症、合併症に対する再手術、遅発性合併症に対する再手術、再入院、在院日数 試料：なし
利用または提供を開始する予定日	2026 年 7 月 7 日（本学における実施許可日）
個人情報の保護	本研究はすでに NCD 事業により全国各施設から収集された情報を利用します。この情報はすでに、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し加工した上で使用します。本研究のために各施設から新たな情報の提供や授受は行われません。情報の保管や管理については NCD 事業の規定に基づき運用されます。
外部への試料・情報の提供	本研究では新たな情報の提供や授受は行われません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院原爆放射線医科学研究所腫瘍外科 教授 岡田 守人

その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 広島大学病院 呼吸器外科 担当者：坪川 典史 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5869